

●外国人の女性が猫を助けた一幕で

「治療費は無料です。

外国の方が日本の猫を助けてくれてるんだから・・・

そんなの（お金）とれないですよね」

「すべてを無料にはできないから

外国の方とか、福島の方は無料です

できるところだけですが」

●ボランティアさんと猫の不妊手術を行っているときに、
お腹に赤ちゃんがいる猫の墮胎を飼い主が希望した一幕で

「できればしたくないですよ。墮胎も殺処分ですから」

その猫の墮胎中に、別の猫が出産してしまい・・・

「猫の勝ちだ。待ってるもんだね」と少し嬉しそうに

その猫は今墮胎している猫の前に手術されるはずの猫でした
墮胎の決心がつかず後回しにしたところ、出産したのです



墮胎は殺処分だから
殺す決心は簡単にはできない

「こうやって命が繋がった。
それは素直に嬉しいですよ」

更に保護猫でもない猫を連れてきた飼い主
手術をしてもらったが、猫の出産など予期せぬできごとに
迎えの時間までに手術が終わらず、怒りだす飼い主・・・

ボランティアさんに対して放たれた言葉に対し
普段は温厚な先生が激怒します

「自分の店（病院）でのことなら頭下げますよ
でもボランティアさんに言うのは許せない
だってこの人達ボランティアでやってるんですよ？
自分達のお金と時間を使ってやってるのに
その人達に対して、信じられない・・・
我慢しすぎだよ みんな」



羊水を吐き出せずに亡くなった子猫

●多頭飼育崩壊をした犬の手術をしたとき
犬の数は70頭、先生が夜から引き受け6匹の去勢を行った

「愚痴になっちゃうけど、埼玉の獣医が一人一頭
引き受けてくれたら、今日一日で70頭終わってるんです」

「僕たち獣医師は、動物で食べさせてもらってるんだから
一頭くらいやってやるか。って言うてくれれば」

「それを彼ら（ボランティア）が朝早くから運んで
彼らは選べないから、やるしかない
それにうまく甘えちゃってるんですよ」

「悪いのは獣医師と行政です。
飼い主さんも悪いけど、素人だから知識も情報もない
ただ犬が好きで 増えちゃったってだけで。
知識と情報があるにも関わらず
関わるのを避けた人間がいる
地元の獣医さんや行政が手を早く打つべき
苦情も噂もあつたはずだし
把握してないわけじゃないじゃないですか」



太田改作 獣医師
-ハナHPより-



※その他写真：ザ・ノンフィクションより